

質 疑 応 答 書

案件名称: 令和8年度自然保全区域管理等業務

No	質 疑	図面番号	回 答	図面番号
1	「サクラソウの生育株数、開花株数、結実のサンプル調査」と有るが。サンプル調査はどのレベルで行うのか。 Ex. 全体を2m×2m程度の区画に区切り、その中の10区画程度など。 また、サクラソウの開花期は3月下旬～4月上旬がピークであると思われるが、受注直後であることを考えると、着手・準備等の手続きが完了する以前からの調査となる可能性が考えられるが、考慮いただけるか。	特記仕様書: 4 業務内容(1)	サンプリング調査は、植栽した全40区画(1区画あたり1.4m×1.4m)の内、12区画を実施する。本業務の契約締結日は令和8年4月1日付けを予定しているが、事務手続きについては3月中旬頃を見込んでいる。なお、現地調査は、受託期間内に実施するものである。	
2	対象小学校のクラス数、児童数はどの程度か。	特記仕様書: 4 業務内容(2)	毎年度、市内の小学校の内、申し込みのあった1校を対象に1回実施するものである。対象となる小学校4年生のクラス数は1～5クラス、同対象児童数は30～160人程度である。	
3	自然イベントの企画・実施について、実施時期、並びに実施場所の候補地、あるいは希望等はあるのか。あれば例示していただきたい。 さらに、参加者数(人数制限)、公募方法などの目安を示していただきたい。	特記仕様書: 4 業務内容(3)	自然イベントについては、荒川流域の自然について興味を抱くことを目的としており、これまでの実績としては、11月中旬から12月初旬に彩湖・道満グリーンパーク内にある戸田ヶ原サクラソウ園脇の広場において、戸田ヶ原サクラソウ園やその周辺で採取した植物を用いたクリスマスリースの作成を市民等20名を募集して実施した。 募集人数は20組程度、公募方法は市広報、市HP、戸田ヶ原ニュースレター、チラシ(市公共施設にて配架)を想定している。	
4	学識委員の候補者は、概ね決まっているのか、そのさいの候補者、謝礼とを示していただきたい。 決まっていない場合は、選定そのものも業務の範囲になるのか否か？	特記仕様書: 4 業務内容(4)	学識委員は、令和7年度の会議にもご参加いただいた2名を想定している。参考として、本市の謝礼基準について、大学教授は1時間あたり15,000円以内、1講座・会議につき2時間を目安としている。	
5	自然再生事業実施計画2021-2026の改定とあるが、既計画の一部(2026年部分)の改訂を指すのか、新たな2027-2031の計画づくりを指すのか。	特記仕様書: 4 業務内容(5)	既存の実施計画2021-2026を改定するもので、新たな実施計画2027-2032の策定を想定している。	

※ この質疑応答書は、仕様書の追補とみなす。質問の内容によっては回答に設計変更を含む場合もあることから、業者は質問の有無にかかわらず全文を読まれない。